

千葉駅前大通りにおける日常づくりの官民連携ウォーカブル社会実験を実施します！ ～毎週金曜日の昼と夜に千葉駅前大通りでキッチンカー等が出店～

千葉市は、京葉銀行を中心とした県内企業によって構成される CHIBA SDGs Parklet Project 実行委員会と共催で、千葉駅前大通りにおける歩道空間の活用可能性を検証するウォーカブル社会実験を実施しますので、お知らせします。

CHIBA SDGs Parklet Project では、千葉駅前大通りの歩道空間を活用し令和4年7月から3カ月に1回程度マルシェイベントを開催しています。また、京葉銀行は、令和5年8月に創立80周年記念事業の一環として、本店営業部前の歩道上に憩いのスペース「パレットテラス」を設置しました。

今回は、これらの取り組みの経緯を踏まえて、まちの顔である千葉駅前大通りを「クルマ中心」から「ひと中心」の居心地よい日常空間に転換するためのチャレンジです。

1 社会実験の概要

(1) 名称

CHIBA SDGs Parklet Project (日常空間づくり版)

(2) 社会実験の期間

令和5年11月10日(金)～令和6年2月22日(木) ※最終実施日
※毎週金曜日のみ開催。ただし、金曜日が祝日の場合は木曜日に開催。

(3) 社会実験の場所

千葉駅前大通りの歩道(京葉銀行本店営業部前)

(4) 社会実験の目的

千葉駅前大通りにおける居心地の良い日常空間づくりの一環として、憩いのスペース「パレットテラス」の周辺への出店ニーズの把握と、本格的な日常空間づくりに向けての仕組みや安全面の検証を行います。

(5) 社会実験の内容

毎週金曜日の昼と夜にキッチンカー等の出店(ただし、金曜日が祝日の場合は木曜日)
出店時間 11:00～19:00 ※変更となる可能性があります。

(6) 実施体制

CHIBA SDGs Parklet Project 実行委員会と千葉市の共催

2 今後の予定

本社会実験の結果を踏まえて、令和6年春頃から同実行委員会を中心となり継続的な日常空間づくりを実施予定です。

<参考>

CHIBA SDGs Parklet Project とは

1 概要

京葉銀行を中心とした県内企業が連携し、フードロスを軸とした SDGs に関連する地域の課題解決に取り組むプロジェクト。令和4年7月から3カ月に1回程度、千葉駅前大通りの歩道を活用したマルシェイベントを開催するほか、家庭などで余っている食品を持ち寄り施設などに寄付するフードドライブや、飲食店と連携したこども食堂を実施しています。

2 実行委員会の構成員

株式会社京葉銀行 株式会社レプロ 塚本総業株式会社千葉支社
一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ 株式会社みなも



マルシェイベントの様子

憩いのスペース「パレットテラス」とは

1 概要

京葉銀行が創立80周年記念事業の一環として、令和5年8月に本店営業部前の千葉駅前大通りの歩道上に設置したウッドデッキ。愛称の「パレットテラス」は公募により決定し、「パレットを使って描かれる素敵な絵画のように、立ち寄る人々の暮らしに豊かな時間を刻んで欲しい」などという願いが込められています。

2 規模

全長8メートル50センチ、幅3メートル60センチの約30平方メートル。
2人掛けの樹脂製ベンチ6脚のほか、プランターが設置されています。



パレットテラスの様子